

学科名	電気通信工学科							
科目名	計測工学							
科目区分	専門科目	単位数	2単位	開講時期	2年次後期			
必修・選択の別	必修科目(組込みシステムコース)／必修科目(電気エネルギーコース)／必修科目(情報システムコース)							
担当者	江崎 秀							
授業の到達目標(シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる。(A6,B1)</li> <li>・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する。(A7,B2)</li> <li>・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる。(A7,B2)</li> <li>・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる。(A6,B1)</li> <li>・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる。(B1)</li> </ul>							
日程と内容	1回 9/14 ガイダンス・単位 2回 9/19 小テスト①・測定器の内部抵抗と正弦波 3回 9/28 小テスト②・正弦波と矩形波の波形 4回 10/5 小テスト③・直流、交流、実効値 5回 10/10 小テスト④・DMM 6回 10/19 小テスト⑤・DMM続き 7回 10/26 小テスト⑥・DMM調査課題・オシロスコープ 8回 11/2 小テスト⑦・オシロスコープ続き 9回 11/9 小テスト⑧・オシロ調査課題・オペアンプ 10回 11/16 小テスト⑨・オペアンプ続き 11回 11/30 小テスト⑩・発振器 12回 12/7 小テスト⑪・発振器続き 13回 12/14 小テスト⑫・総合演習①・発振器調査課題 14回 12/21 臨時試験 15回 1/18 総合演習② 16回 1/25 定期試験							
成績評価基準	定期試験	20%	実技	0%	臨時試験	10%	部外評価	0%
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%	課題	30%		
	演習	40%	計	100%				
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> <li>・回路に計測器を接続し、計測器の接続による誤差を見積ることができる:到達した</li> <li>・信号が直流、交流、不規則、一過性の信号に分離できることを理解する:到達した</li> <li>・信号を直流成分と交流成分に分離し、交流成分のパラメータを求めることができる:到達した</li> <li>・計測における回路の特徴を理解し、演算増幅器による基本演算回路を設計できる:到達した</li> <li>・基本的な計測器のデータシートを読むことができ、実務に適切な装置を選ぶことができる:到達した</li> </ul>							
反省点	新2年次生は昨年度よりも、出席率、合格率ともに向上した。総合演習の得点に比べ、定期試験の得点は高かったため、自己学習に対する成果も上がったと思う。一方、再履修生は出席率も合格率も目立って低かった。何らかの対処が必要だったと感じる							
来年度の計画	来年度も今年度と同様の運営をする予定であるが、再履修生の受講指導を徹底させたい。							
授業評価アンケートに対するコメント	授業評価の総合評価は平均8.3点で若干低下傾向にある。計測工学は実学であるのに、「授業の内容は理解できましたか」「授業に刺激され授業内容に興味を持つようになりましたか。」が3点台だったので、より実習形式を取り入れたいと思う。							
履修登録者数	70名	定期試験受験者数	67名	合格者数	60名	合格率	90%	